

海況速報

平成 22 年度 第 2 号 (通算 No.134)
平成 22 年 6 月 23 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@fishexp.pref.hokkaido.jp

5 月下旬～6 月上旬の海況

☆日本海海域

対馬暖流 (指標: 100m 層水温 6℃以上) が北海道西岸を、順調に北上しています。留萌の西方沖に冷水域があるため、石狩湾以北では、対馬暖流は例年よりも沿岸側を流れています。対馬暖流の流量は例年並みになっています。

水温は、松前沖 J5 線の表面では例年よりも 1～2℃低くなっていますが、50m 以深では例年よりも 1～3℃高くなっています (水温偏差表参照)。また、瀬棚沖の J4 線では、例年よりも約 1℃低い海域が広くみられます (水温偏差表参照)。

余市における旬平均水温は、4 月下旬から 5 月下旬まで「平年並み」よりも低くなっていましたが、6 月中旬では「かなり高い」になっています。

☆道東太平洋海域

前回に引き続き、道東沖は広く親潮 (指標: 100m 深水温 5℃以下) に覆われています。また、黒潮系北上暖水の影響は例年よりも小さくなっています。

水温は、道東沖の南方の海域で、例年よりも 1～5℃低くなっています (水温偏差表参照)。

☆オホーツク海海域

オホーツク海表層をオホーツク表層水が広く覆っています (水塊分析の結果から)。このため、宗谷暖流は、紋別沖からは潜流となって流れています。宗谷暖流の表面水温は例年よりも 2℃程度低く、オホーツク表層水が接岸している紋別沖では、表面水温が例年よりも 6℃以上低くなっています (水温偏差表参照)。

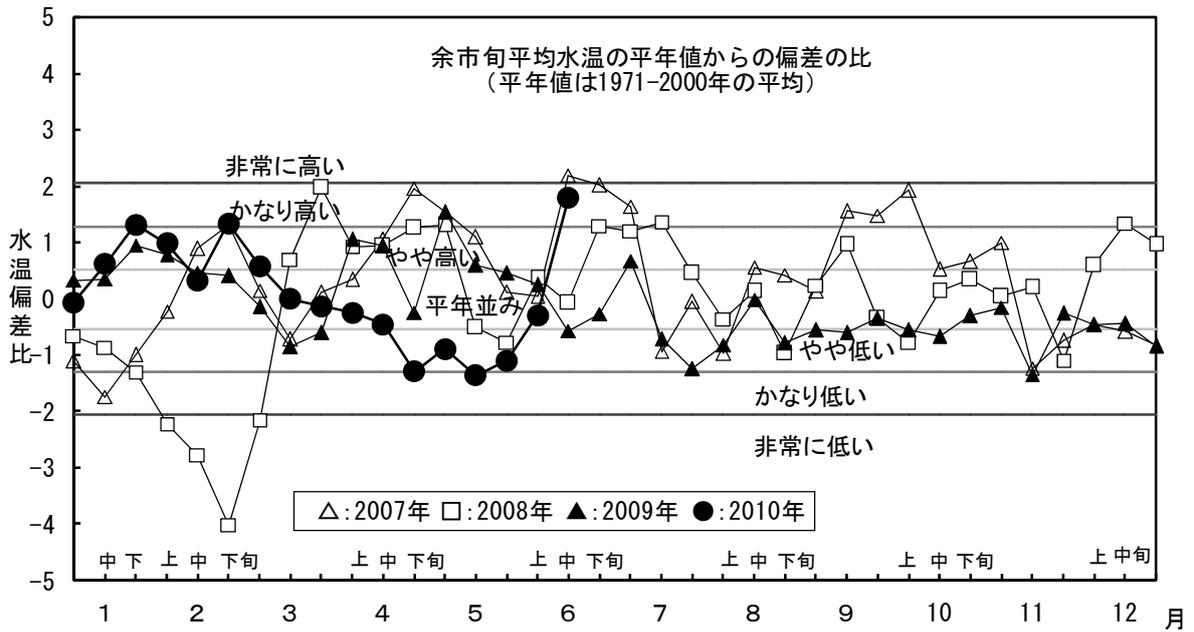
☆道南太平洋海域

前回と同様に、津軽暖流は沿岸モード (*1) で、また、津軽暖流から派生したと推察される暖水域が浦河沖にみられます (指標: 100m 層水温 6℃以上)。

表層の水温は、親潮の影響が見られる浦河沿岸では例年よりも 2℃前後低く、白老沖では例年よりも 1～3℃高くなっています (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試 (北洋丸)	2010/6/7-6/9	(道西道北日本海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2010/5/31-6/2	(オホーツク海海域)
函館水試 (金星丸)	2010/5/27-6/1	(道南日本海海域)
函館水試 (金星丸)	2010/6/7-6/9	(道南太平洋海域)
釧路水試 (北辰丸)	2010/5/28-6/1	(道東太平洋海域)

* 1 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

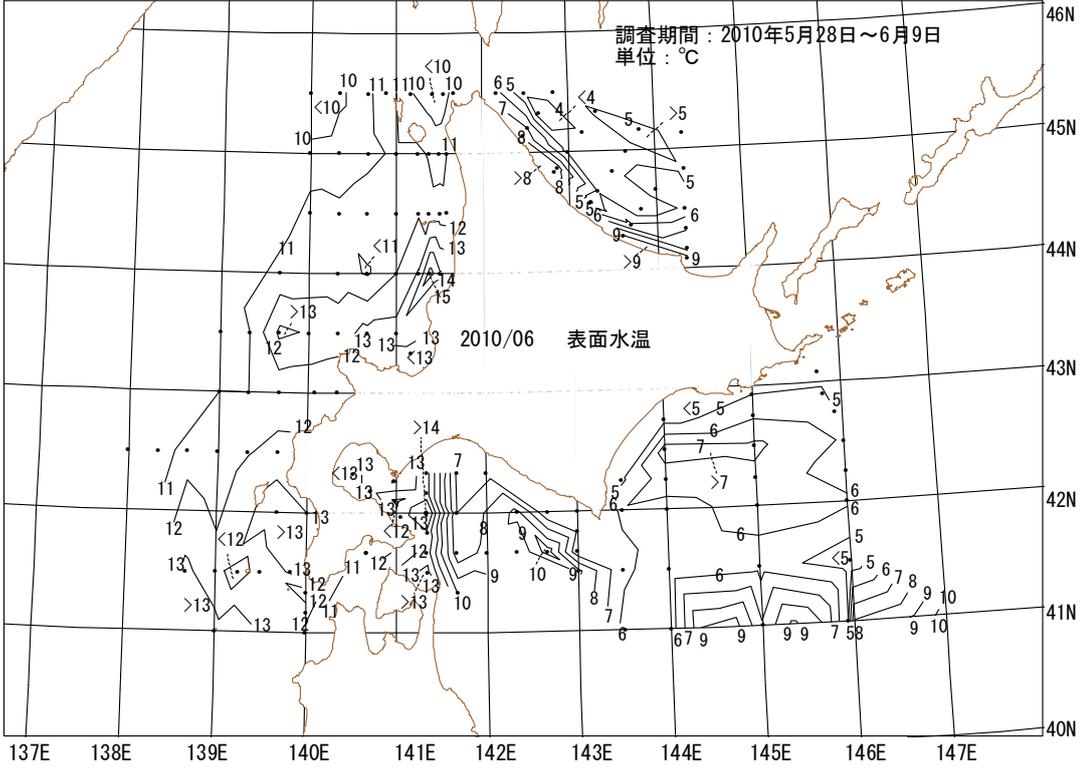
余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/keitai/k-index.html>

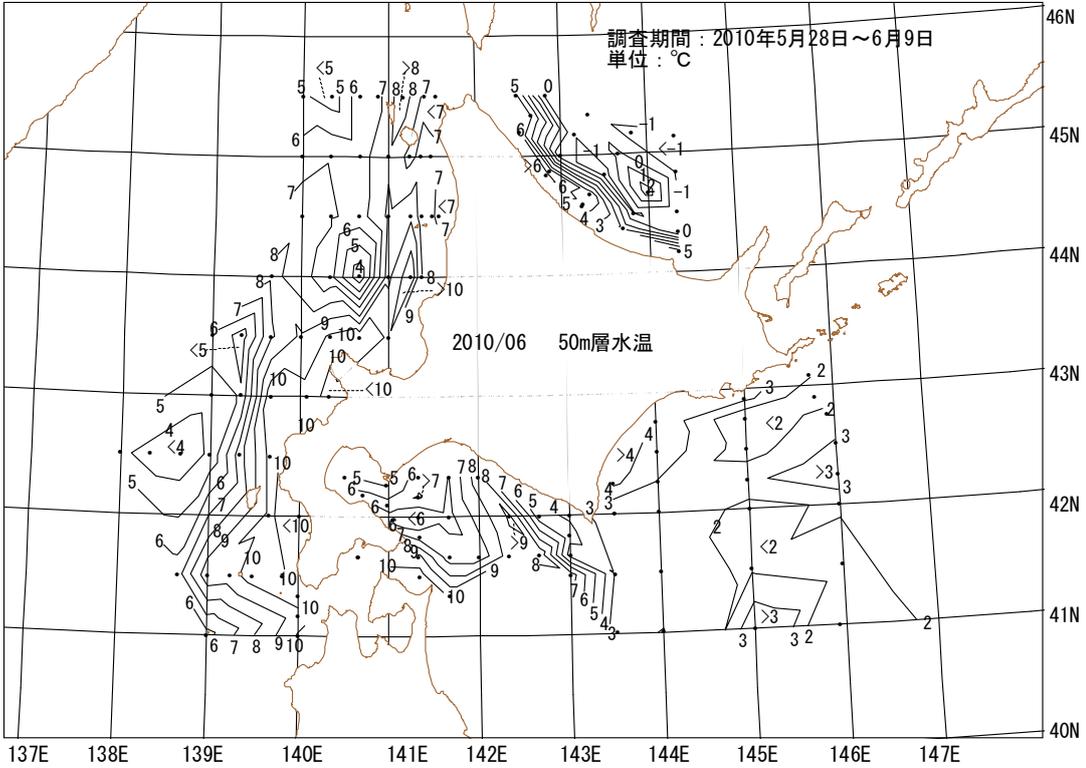
右に QR コードがあります。



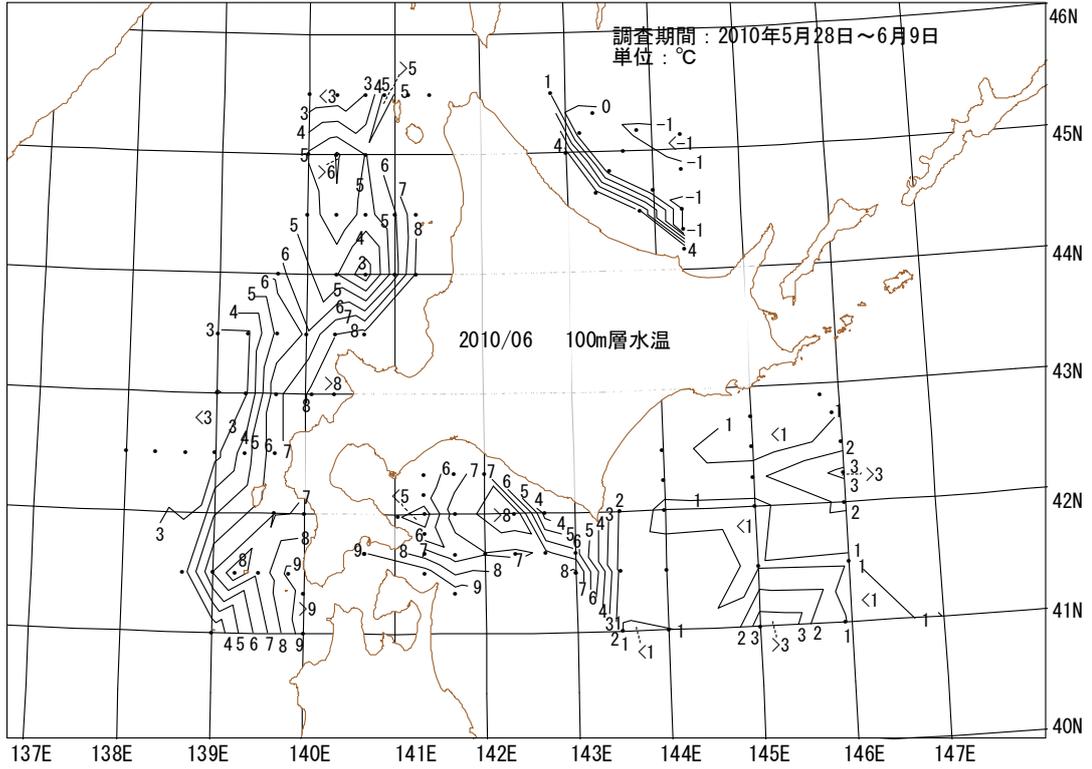
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

